

事業所名 グループホームえがおをみせて
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成18年 1月11日

評価機関名 ㈱東京リーガルマインド
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

評価調査員
A: 現職 介護支援専門員
資格・経験 介護支援専門員、介護福祉士、老人福祉施設(9年以上)
B: 現職 元介護支援専門員
資格・経験 介護福祉士、介護支援専門員

自主評価結果を見る (事業者の自主評価結果にリンクします)

評価項目の内容を見る (評価項目にリンクします)

事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

医療による治療が常時必要は無く、本人や家族の希望があれば、終末まで支援をしていきたいという方針である。母体が病院で医師との連携もしっかり取れており、緊急の場合も対応が早く安心できる。

法人代表者と管理者は同じ理念を持ち、なるべくそれに近づけるようにと努力している。全人的なケア方法(ジェントル・ティーチング)による支援を展開していて、職員の優しい穏やかな対応で尊敬ある暮らしが守られている。

アイランドキッチンを取り入れ、入居者が自然に調理や後片付けが手伝える環境になっている。ホーム内のインテリアは和風でまとめ、昔懐かしい道具や農具を置き、居心地が良く和める。ホームの周りはさざんかの生垣にグルッと囲まれていて、花が咲くのが楽しみである。生垣は低いので外の景色が良く見え、開放感がある。

敷地内の徒歩5～10分の所に親子の地蔵さまがあり、入居者が散歩がてらお参りをしている。そばには藤瀬もあり、その下にはベンチがあるので座って休憩ができる。そういった一つひとつが落ち着いて生活できる要因になっているようだ。

宇野線の備前片岡駅のすぐそば(徒歩5分)にあり、JRで面会に来る家族にはとても便利が良い。周りは田園風景が広がり、サウスビレッジの三角屋根の塔も見え、落ち着ける良い環境である。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

職員の対応や全体の雰囲気はとても良かった。一つ改善点を挙げるとすればトイレの場所である。居室が1列に長く並んでおり、その中央の同じ場所に2箇所トイレがある。使いやすさから言えば、1箇所を端の方に設置した方が良いのではと感じた。ただし構造上の問題であり、そのことは職員も十分理解できていて、配慮はなされていた。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述)		
	<p>入居者の尊厳が保たれて日々楽しく生活ができ、できない所は職員がカバーし不安や混乱を和らげ、当たり前前の生活が送れる安心感のあるホームでありたい。</p> <p>入居者の方々にたくさん良い思い出を作っていたでき、最後に良かったなと思っただけのグループホームを目指している。</p>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり		
4	建物の外回りや空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>環境を大事にする事を常に考えている。環境は人と人が集まって作るものと考え、関係作りを大切に、職員が潤滑油となって、より良い人間関係が作れるように取り組んでいる。昔懐かしいお釜やミシン・石臼等の道具類や農具を飾ったり置いたりしているのも、落ち着ける環境作りに役立っている。</p>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のペースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人のできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にした整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物の支援		
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)		
	<p>今までの趣味や経験を楽しみながらしてもらう試みを続けている。職員と囲碁をしたり、院展を見に行ったり、大好きの方には本を眺んでもらう、調理や後片付けの手伝いをしてもらうなど、自分の好きな事ができる時にしている。自分のできる事や好きな事をしていくと、自信を取り戻されとても落ち着かれる。</p> <p>プライバシー保護については、法人のプライバシーポリシーを職員の採用時に渡し、情報を外部に漏らさない等の取り決めを行っている。</p>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	サービスの質の向上に向け日々から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)		
	<p>法人の施設内研修があり、外部から講師を呼び講演会を開催したり、各部署による発表会を行っている。グループホームとして症例発表をすることもあり、色々な意見を聞いたり支援の方法を学べる良い機会になっている。ホーム内のミーティングでは、利用者本意を年頭に、職員に「考えてもらう」事を意識付けている。管理者はグループホームとしての方向をその都度話し、様々な考え方をアドバイスしている。+J74</p> <p>16年度は、家族評価として家族にアンケートを実施した。満足度や意見を聞かせてもらい、サービスの質の向上に役立てていきたいと考えており、定期的な実施したい意向である。</p>		